

今日のテーマ「勤労、公共の精神」

授業の流れ

使う教材「ぴかぴかがかり」(光村図書)

育てたい心

みんなのために働くことにはどんなよいことがあるかを考え、働くことのよさを知り、みんなのために働こうとする意欲と態度を育てたいと考えています。

お話について



2学期から「ぴかぴかがかり」になった「わたし」とたまきさん。流しを磨くときれいになることにやりがいを感じ、毎日がんばっていました。しかし、水が冷たく、掃除をするのがだんだん嫌になってきた2人は、流しを磨くのをやめ、水を流すだけにすることにします。

ある日、「わたし」は、流しが黒ずんで水の流れも悪くなっていることに気づきます。「きちんとそうじをしなかったからだ。」と思っていると、たまきさんがやって来て「今からながしをそうじしようか。」と言い、2人は流しをぴかぴかに磨きました。

きれいになった流しで、1年生たちが、「ながしがきれいだと、気持ちがいいね。」と話しているのを聞いた2人は、なんだかうれしくなりました。

クラスみんなのためにしていることを発表し合う。

- 1 黒ずんだ流しを見たとき、「わたし」はどんなことを考えていたでしょう。
- 2 1年生たちが話しているのを聞いたとき、「わたしたち」は、どんな話をしたと思いますか。
- 3 あなたは、みんなのためにがんばったとき、どんな気持ちになりましたか。

あなたの周りでは、どんな人が誰のために働いていますか。

ご家庭で

子供たちは、自分が働くことがみんなの役に立っていると感じると、どんどんがんばるパワーが湧いてきます。ご家庭でも、「学校の当番や係の仕事でどんなことをがんばっているの?」ときいてみてください。

また、ご家庭でも、家族の一員として分担する仕事を決め、家族の役に立っていると感じられる場を作っていただければと思います。